

2019年8月9日

2019年7月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

<印刷用紙 A>

平判は学参テキスト関連が例年より部数が増え、また封筒関連の特需もあり前年を上回った。

（前年比 101.8%）

巻取は学参、教科書関連の仕事が例年より動きが早く、金融関連と不動産チラシも例年並みに推移して前年を上回った。

（前年比 106.3%）

再生紙平判は中央省庁大口物件があり前年を大幅に上回った。

再生紙巻取は大口入札物件も少なく前年を大幅に下回った。

（前年比 再生上質平判 135.2% 再生上質巻取 53.2% 再生上質計 95.4%）

（前年比 印刷用紙 A 102.7%）

<A2 コート>

平判は金融、生損保、官公庁、各企業カタログ、映画パンフ、一部カレンダー需要等で再生品及びマット紙を中心に動きがあり前年を上回った。

巻取は金融、生損保、自動車、不動産等で動きがあったものの、仕事量の減少が大きくグロス紙、マット紙とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 101.0% 巻取 85.0% 全体 97.7%）

<A3 コート>

学習塾、量販店、スーパーのチラシ等で定期的な動きがあったものの、用紙供給不足による紙離れの影響が平判、巻取とも前年を大幅に下回った。

（前年比 平判 87.3% 巻取 75.4% 全体 79.8%）

<ノーカーボン紙>

平判は金融関連の帳票の動きが弱く前年を大きく下回った。

巻取は生損保関連を中心に官庁関連も好調に推移し前年を大きく上回った。

（前年比 平判 88.7% 巻取 130.2%）

<上質フォーム>

生損保、官庁関連の動きも堅調に推移し、昨年の災害による供給ずれの影響もあり前年を大きく上回った。

（前年比 117.8%）

<包装用紙>

特殊両更は事務用封筒、ブックカバーの動きはあったものの全体的には低調で前年を下回った。

(前年比 83.9%)

片艶晒は金融向け封筒、ネット通販包装紙、平袋で動きがあったが全体を押し上げるには至らず前年を下回った。

(前年比 97.8%)

両更晒は高額商品向けの手提げ、金融関係の封筒用途での動きがあり前年を上回った。

(前年比 105.3%)

純白ロールは、ギフト包装紙、生花店向け包装紙用途での一部動きはあったものの前年を下回った。

(前年比 95.7%)

軽包装は雑貨の小袋、製本会社向け雑包装用途、ブックカバーでの動きはあったが前年を下回った。

(前年比 99.8%)

包装紙合計で 93.9%と前年を下回った。

<板紙>

長梅雨の影響もあり、アイスなどの冷菓や行楽地の土産品等は低調であった。特板等の POP 関連の動きも鈍く、日用雑貨品の消費増税の前倒しも多少あったが全体では前年を下回った。

(前年比 96.3%)